



30周年記念誌発刊を祝して

松江市社会福祉協議会

会長 加藤 滋 夫

この度、松江市ボランティア連絡協議会が創立30周年を迎えられますことを心よりお祝い申し上げます。

松江市ボランティア連絡協議会は昭和58年、市内のボランティア団体の相互交流と学習・研修などの事業を行い、協力して地域社会の充実発展に寄与することを目的に設置され、現在は、多種多様な100余のボランティア団体、グループが加入され、それぞれの活動の特徴を活かし、松江市のまちづくり、地域福祉の推進に積極的に参加、協力をしてこられました。また、本年第10回を迎えるボランティアフェスティバルでは、企業ボランティア松江ネットワーク会議及び本会との共催により「広がれボランティアの輪」をメインテーマに市民へのボランティア意識の啓発と意識の向上を図るなど、永年にわたり地域社会の充実発展に寄与してこられましたことに対し心から敬意を表し、深く感謝申し上げます。

さて、私たちを取り巻く環境は少子・高齢化、核家族化の進行や家族関係や地域社会におけるつながりの希薄化、雇用環境の変化等により、「社会的孤立」「低所得者の増大」「権利擁護の必要性」「犯罪防止の抑止力の低下」「災害時の要援護者支援の増加」等の問題が、個別化・多様化し、行政サービスだけでは対応できなくなっております。そのため地域住民の支え合いやボランティア活動に対する期待はますます高まっております。

このようなことから、本会といたしましても、誰もが安心して暮らすことのできる『福祉でまちづくり』を地域住民の方やボランティアの方、福祉・保健・医療など多様な機関と協働し推進していくこととしております。また、制度では対応できない諸問題の解決に向けても努力していく所存でございます。それには、ボランティアの皆様のお力が大きく、今後とも引き続き、ご理解、ご協力をいただき福祉の向上にお力添えをいただきますようよろしくお願いいたします。

結びに、松江市ボランティア連絡協議会のますますのご発展と、関係する皆様方のご健勝を心からお祈り申し上げ30周年記念誌発刊にあたりましての祝辞とさせていただきます。